

## Presentation and Outcomes of Patients with ESKD and COVID-19

Valeri AM, Robbins-Juarez SY, Stevens JS, et al. *J Am Soc Nephrol*. 2020;31(7):1409–1415. doi:10.1681/ASN.2020040470

全文PDF: <https://jasn.asnjournals.org/content/jnephrol/31/7/1409.full.pdf?with-ds=yes>

### COVID-19透析患者の症状および転帰

透析患者は免疫能が低下しているとともに多くの併存疾患を有するため、COVID-19が重篤化するリスクが高い可能性が懸念されている。しかし、透析患者集団でのCOVID-19の転帰は明らかにはなっていない。

本研究の著者らは、COVID-19透析患者の症状と転帰を検討するために、COVID-19で米国ニューヨーク市の医療センター（単施設）に入院した透析患者59名の臨床データをレトロスペクティブに解析した。

本研究の対象となった59名の透析患者の年齢（中央値）は63歳で、高血圧（98%）と糖尿病（69%）の併存割合が高かった。COVID-19で死亡した患者は、生存者よりも有意に高齢（中央値 75歳 vs. 62歳）、Charlson併存疾患指数が高かった（中央値 8 vs. 7）。最もみられた症状は発熱（49%）と咳嗽（39%）であり、入院時X線写真では多巣性または両側性陰影が最も一般的に認められた所見であった（59%）。観察期間中（2020年3月9日から4月8日）に、18名の患者（31%）が死亡した（入院後日数中央値6日）。死亡患者は生存患者と比較して、入院時白血球数（中央値 7,500 vs. 5,700/ $\mu$ L）、およびCRP値（16.3 vs. 8.0 mg/dL）が有意に高かった。

#### 論文要約作成者のコメント：

COVID-19が呈する症状は透析患者においても一般集団と同様でしたが、透析患者の転帰は一般集団と比較して不良であることが示されました。また、COVID-19の重症化に炎症マーカー高値が関連している可能性も示唆されました。これまでのところ、米国ニューヨーク市における一般集団でのCOVID-19の有病率や致死率は日本のそれと大きく異なります。したがって、わが国の透析患者に本研究結果をそのまま外挿することは出来ませんが、参考に資するシンプルな記述的研究の結果であると考え、本論文要約を紹介いたしました。

要約作成者 昭和大学 統括研究推進センター/医学部内科学講座腎臓内科学部門 長谷川 毅